

「挑戦・友愛・創造」

串間市立串間中学校 校長 平田 史士

自主・自學・自力を身に付けよう！

祝 第4回卒業式

○3月16日(火)に串間中学校第4回卒業式を行いました。卒業生は、男子61名、女子62名の合計123名でした。



「当たり前だったが、当たり前で無くなった・・・コロナ禍」。

コロナウイルスの感染拡大は1年経っても、収まる気配がなく、本年度も卒業生の晴れ姿を、1・2年生に見せることができないままでの実施となり、卒業証書も学級代表4人のみに手渡すこととしました。

ただ、昨年と違うところは、2年生の生徒会役員、学級役員21名がボランティアとして式に参加してくれたこと、来賓の皆様の数が少し増え、卒業生の旅立つ姿を間近で見守っていただくことができました。

式には串間市教育委員会教育長吉松俊彦様、PTA会長森浩二様、学校運営協議会委員の方々、保護者、本校の先生方のご列席のもと無事終えることができました。この1年間、コロナの影響もあり、生徒たちの歌う校歌を一度も聞くことがなかったのですが、感染防止に努め、串間市の歌でもある、「海と大地～伝説～」と「校歌」を聴くことができました。

コロナの影響により、今年度の3大イベントの一つである、文化発表会・合唱コンクールは中止、体育大会も午前中のみとし、保護者の観覧者の人数も制限する中の開催でしたが、実行委員長・各団長を中心に、全力で走って、踊って、応援してスローガンにある「咲 ～勝利の道しるべとなる大輪の花～」を成し遂げ、一人一人が輝き、大輪の花を咲かせた姿が目に見えてきます。

串間中学校は、開校してわずか4年しか経っていませんが、串間市内唯一の中学校です。4月から、それぞれが選んだ道へと旅立って行きますが、串間中学校はみなさんの心の支えとなる母校です。いつでも訪ねてください。

↓【下の写真は卒業式の様子です】↓



※卒業生代表答辞↑は、生徒会長を務めていた、内山田大地くんでした。中学校生活の3年間の思い出と、これからの串間中の発展を後輩にしっかりと託しました。ボランティアで参加してくれた、2年生の生徒会役員、学級役員のみなさんは、保護者の受付や手指消毒、検温の手伝いもしてくれました。



← 教職生活36年間お疲れさまでした！

○卒業式の校歌の指揮をされたのは、音楽の谷口美智子先生でした。3月31日をもって、定年退職となります。これまで、県内の中学校8校で勤務されました。開校当初から4年間串間中のために、音楽の魅力、吹奏楽の楽しさを教えていただきました。指揮を終えられた後の先生の涙に、職員も卒業生も泣かされました。退職後も、串間中の生徒たちのことを見守っててください。